

僕らは今のなかで

お 辞 儀

1ヶ月以上先のことですが、12月15日（火）6校時の学活で面接練習を行います。新型コロナウイルス感染防止対策のため、面接試験のある生徒のみ練習を行います。（面接試験のない生徒は「2学期の反省」を予定しています。）

面接練習を行うのは限られた生徒となりますが、あと半年で義務教育を修了するというのに『お辞儀』もできないようでは困ります。そこで、今号では『お辞儀』についてふれてみます。

お辞儀とは、『挨拶や感謝、敬意などを表すために相手に向かって腰を曲げる動作』で3種類に分類できます。

会 釈（15° 傾ける）… 道で知人とすれ違った時などのお辞儀です。

敬 礼（30° 傾ける）… お客様を迎える時など、基本のお辞儀といえます。

最敬礼（45° 傾ける）… 深いお詫びをする時などのお辞儀です。

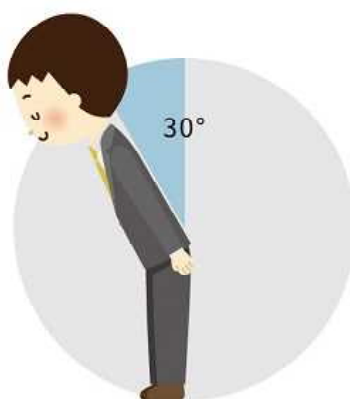
高校の面接では最敬礼までする必要はありません。敬礼（イラストの右から2つ目）がよいでしょう。30° 腰を曲げましょう。（くれぐれも頭だけのお辞儀にならないようにしましょう。）

また、練習も兼ねて廊下で友達とすれ違う時に実践してみるのも良いと思います。その場合は、15° 腰を曲げる会釈がよいでしょう。



会釈

すれ違いなど



敬礼

面接時



最敬礼

お詫び

●本検査

公立高校入試では、来春より追検査（令和3年3月17日実施）が導入されます。それにとともに、これまで行っていた一般入試（令和3年3月3日実施）を『本検査』と称することになりました。

今後、進路通信をはじめ、様々な場面で『本検査』という語を使用することになると思われますのでご理解ください。

@coffee break 痕跡器官

退化によって本来の用をなさなくなった器官が、わずかに形だけがそれとわかるように残っている場合、その器官を『痕跡器官』といいます。ただし、発生や進化の過程で退行的進化をとげて形や機能が縮小したものは『退化器官』といいます。

ヒトの『痕跡器官』は100余りもあるといわれています。今号では、そのいくつかを紹介します。

【尾骨（尾てい骨）】

多くの他の脊椎動物と違い、ヒトには「しっぽ」がありません。しかし、その痕跡が「尾骨（尾てい骨）」として残っているのです。ヒトは二足歩行をし、平地に住んでいます。「しっぽ」でバランスをとり、木々を渡り歩く必要もありません。そのため、進化の過程で「しっぽ」の必要性を失い、徐々にその姿を消していったのです。

【耳介筋（じかいきん）】

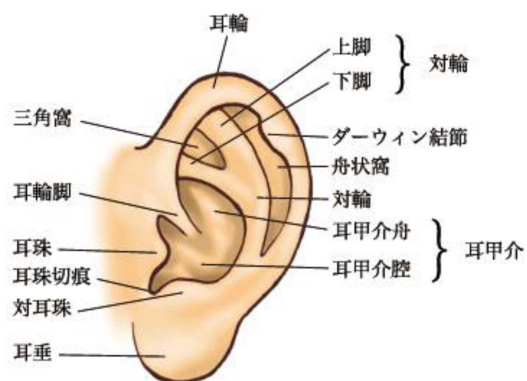
耳の周囲にある3つ筋肉で、耳を自由に動かすために存在する筋肉です。元来、動物は音の方向へ耳をよく動かします。しかし、私たち現代人が耳を積極的に動かすことはありません。そこで、多くのヒトの耳は動きませんが、この筋肉がわずかながら残っているため、時々、耳を動かせる方に出会います。

【犬歯】

前歯と奥歯の間にある少し尖った歯です。これは肉食動物の「牙」の名残（なごり）で、俗に「八重歯」といわれております。

【立毛筋（りつもうきん）】

立毛筋が収縮することで、毛根が引っ張られて毛が逆立つ現象を「鳥肌」とよんでいます。体温が低下すると、立毛筋が収縮され「鳥肌」が立つのです。立毛筋は、恐怖、驚きなどの情緒性ストレスによっても収縮されます。



【ダーウィン結節】

4人に1人の割合で見られる、耳に存在する膨らみで、多くの哺乳類（サルやネコなど）で見られる突き出した耳先の名残と考えられます。

ダーウィン結節の場所は左図を参照してください。